



年 組 名前

道新 ワークシート

卒業ソング 時代を映す

旭川市内の小中学校 2017年「卒業式の歌」人気ランキング

<小学校>

順位	曲名	校数
1	旅立ちの日に (作詞:小嶋登/作曲:坂本浩美)	15
2	大切なもの (作詞作曲:山崎朋子)	10
3	変わらないもの (作詞作曲:山崎朋子)	9
4	with you smile (作詞作曲:水本誠・英美)	5
	ふるさと (嵐)	5
5	絆 (作詞作曲:山崎朋子)	4
	明日(あした)の空へ(作詞:ミマス/作曲:Sachiko)	4

<中学校>

1	旅立ちの日に	12
2	時を越えて (作詞作曲:梅野知子)	7
3	大地讃頌 (作詞:大木惇夫/作曲:佐藤真)	4
4	明日(あした)の空へ	3
	大切なもの	3
	友~旅立ちの時~ (ゆず)	3
	道 (EXILE)	3
	桜の季節 (EXILE ATSUSHI)	3

() 内は合唱曲が作詞・作曲者、ポップスは歌手

春3月、卒業式シーズン本番を迎えた。式に欠かせないのが「卒業ソング」だ。「仰げば尊し」「蛍の光」など年配者に定番の曲は今や昔。旭川市内の全小中学校81校を調べると、「旅立ちの日に」「大切なもの」など合唱曲が上位を占める一方、人気歌手のポップスを歌う学校も多かった。思い出を歌声に乗せ、学びやを巣立つ卒業生。最近の卒業ソング事情取材した。

(石橋治佳)

旭川の中小81校調査

11日、市内豊岡の東陽中。卒業証書を受け取った卒業生134人は、生徒自身で選んだ楽曲を歌い上げた。曲は歌手川嶋あいさんが2

11日、市内豊岡の東陽中。006年に発表した「旅立ちの日に」。教室、仲間、校庭、放課後、そして卒業。学校生活を思い起こす言葉が歌詞に並ぶ。

「歌詞の全て、特にサビに共感しました」。選曲係を務めた斎藤万璃菜さん(15)は式後、そう言って歌に込めた思いをかみしめた。同校は6年前から各クラス2人の選曲係が卒業生と全校生徒が歌う2曲を選ぶ。今回はインターネット

で調べるなどして約10曲の候補を挙げ、絞り込んだ。全校生徒は合唱曲「証」を歌唱。斎藤さんは「在校生も保護者も気持ちを込められた」と振り返った。北海道新聞が市内の全小中学校の卒業式ソングを調べたところ、各校では式で1~3曲を歌うことが多かった。中学校では卒業生が歌う曲の選択時にアンケートなどで生徒の意向を聞く学校が大半で、ポップスが選ばれるのはそうした理由がある。

中学校の上位をみると、トップは1991年に埼玉県の中学教員が作詞作曲して定番化した「旅立ちの日に」。約4割の12校が選曲し、全校合唱で歌うケースが目立つ。次いで「時を越えて」(7校)、「大地讃頌」(4校)と合唱曲が

1位は「旅立ちの日に」／ポップス人気

続くが、人気グループEXILEの「道」(3校)や、ゆずの「友~旅立ちの時~」(同)が4位に食い込んだ。歌う学校数こそ1校と少ないが、ユブクロの「今咲き誇る花たちよ」や、いきものがかりの「ラストシーン」「茜色の約束」などポップスを選んだ学校も少なくない。楽曲数は27校で計34曲に上り、多様化していることがうかがえる。旭川市の音楽教師らでつくる合唱指導者研究会の室崎真由美事務局長(54)「東明中教諭」は「生徒から意見を聞くことで合唱に対する思い入れが強くなる。生徒の心情に沿った楽曲も多く、選曲の幅も広がっている」とする。卒業ソングは年代ごとの「定番」がある。かつての「仰げば尊し」は別格だが、1980年代には海援隊の「贈る言葉」などを歌う学校も。以降、時代ごとのヒット曲を歌うケースが増え、そこに「歌詞やメロディーが分かりやすく聴き応えがある」(室崎さん)「旅立ちの日に」などが、新たな定番として支持される傾向があるようだ。

2017年3月17日朝刊旭川・上川版 (記事は再編集しています)

① 見出しに「ポップス人気」とありますが、中学校でポップスが選ばれる理由を書きなさい。

② 卒業式で歌った歌(聴いた歌)で、あなたが印象に残っている歌の一節とその理由を、60字程度で書きなさい。